

周南市地域自立支援協議会 平成25年度 第1回定例協議会会議録

1 場所 周南市文化会館 地下展示室

2 日時 平成25年8月8日 午後1時30分から午後3時

3 出席状況

(1) 出席委員

河井会長、船津副会長、澤重委員、田中委員、竹内委員、北野委員、堀江委員、岡村委員、松谷委員、小林委員、服部委員、古谷委員、金池委員、片山委員

(2) 事務局

福祉部長、障害者支援課長、外3名
相談支援会議・地域生活部会・就労部会・教育部会の各専門部会長

(3) 傍聴者 無し

4 審議等経過及び結果

(1) 福祉部長あいさつ

(2) 議事

◇会長 それでは、議事に入ります。(1)各専門部会からの本年度の事業計画を部会長さんから説明をお願いします。

[資料の7~47ページにより相談支援会議議長並びに各専門部会部会長が説明。①相談支援会議 ②就労部会 ③地域生活部会 ④教育部会]

◇会長 今の各部会の説明について、何かご質問は、ありませんか。

◇委員 相談支援については、精神障害のある方の相談が増えている印象があります。どこへ相談すれば良いのかわからないという声もあります。

◇委員 相談先は、市役所、相談支援事業所、県健康福祉センターなどになるとと思いますが、私は、まずはかかりつけ医に相談することも勧めています。受診の必要があれば、精神科医を紹介してもらえと思います。

◇委員 教育部会の事業計画に、余暇活動についての現状整理がありますが、既に現状についての資料を持っていますか？

◇部会長 持っておりません。

◇委員 障害福祉計画の作成等もあり、現状の把握は必要と考えますが、教育部会だけで調査するのは大変だと思います。関係者と連携して実施していくのがいいと思います。

◇会長 それでは、議事の(2)「第32回障害者の福祉を考える集い」について事務局より説明をお願いします。

[事務局が資料の51~54ページを説明。]

◇委員 今回の「第32回障害者の福祉を考える集い」でふれジョブを取り上げるに至った経緯を教えてください。

◇事務局 当初は昨年度、教育部会会長より情報提供を受け、同時期にふれ

ジョブ周南が活動を始めたこともあり、活動内容を調査したところ、障害児の保護者などの自発的な活動であること、共生社会の実現に向けた取り組みであることなどから教育部会で協議され、最終的に「第32回障害者の福祉を考える集い」の開催テーマとする案となりました。

◇会長 それでは、議事の(3)今年度以降の制度改正について事務局より説明をお願いします。

[事務局が資料の 55~68 ページを説明。委員から質疑・異議はなかった。]

◇会長 それでは、議事の(4)その他について事務局より説明をお願いします。

[事務局が資料の 69~74 ページを説明。]

◇委員 サービス等利用計画作成の進捗状況については、良くわかりました。他市の事例ですが以前、障害児のケース会議で総合支援学校卒業後の進路について、障害児を取り巻く支援団体の連携が弱く、保護者の理解がうまく得られなかったという事がありました。

サービス等利用計画作成の際には、各支援団体の連携はさらに重要になると思います。その前段として（特に総合支援学校の生徒などには）個別の教育支援計画があると思いますので、教育部会などの協議を通じて連携力を上げていく事が重要ではないかと思います。

◇会長 他に何かありましたら、お願いします。

ないようですので、これで閉会します。ありがとうございました。